

柔道整復スポーツ学科（昼間部3年制）

区分	開講科目名 (英語標記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
基礎分野	科学的 思想の 基礎・ 人間と 生活	健康管理学 I Health Care Management I	必修	講義	2	30	30					健康管理・健康増進を目的とし、その基礎的方法を修得する。
		健康管理学 II Health Care Management II	必修	講義	2	30	30					健康管理・健康増進を目的とし、その応用方法を修得する。
		心理学 I Psychology I	必修	講義	2	30		30				心理学の基礎理論を修得する。
		心理学 II Psychology II	必修	講義	2	30			30			心理学の応用理論を修得する。
		栄養学 I Nutrition I	必修	講義	2	30	30					栄養学の必要性を学び、栄養指導の基本方法を修得する。
		栄養学 II Nutrition II	必修	講義	2	30	30					過剰摂取や欠乏症など栄養に関する諸問題を学び、栄養指導の応用方法を修得する。
		情報科学 Information Science	必修	講義	2	30			30			ワード・エクセル・パワーポイントを中心にPCの使い方を修得する。
		生物学・生化学 Biology・Biochemistry	必修	講義	2	30	30					生物学・生化学の基礎的知識を修得する。
専門基礎分野	人体の 構造と 機能	解剖学 I Anatomy I	必修	講義	4	60	60					ヒトの解剖学の総論・循環器系・消化器系・内分泌系の知識を修得する。
		解剖学 II Anatomy II	必修	講義	3	45	45					ヒトの形態と構造を理解し、運動器系の知識を修得する。
		解剖学 III Anatomy III	必修	講義	4	60	60					ヒトの泌尿器系・生殖系・神経系・感覚器・体表解剖の知識を修得する。
		生理学 I Physiology I	必修	講義	4	60	60					細胞・組織・器官の機能統合の知識を修得する。
		生理学 II Physiology II	必修	講義	5	75	75					人体の生命維持に関する知識を修得する。
		運動学 I Kinesiology I	必修	講義	2	30		30				ヒトの身体運動を科学的・解剖学的にとらえる知識を修得する。
		運動学 II Kinesiology II	必修	講義	2	30			30			ヒトの歩行運動や姿勢に関する知識を修得する。
		高齢者の生理的特徴と変化 Physiological and pathological characteristics of elderly	必修	講義	1	15					15	加齢・老化に伴う生理学的な心身の変化や疾病についての知識を修得する。
		競技者の生理的特徴と変化 Physiological and pathological characteristics of athlete	必修	講義	1	15					15	競技者の生理的特徴を理解し、好発する疾病および外傷の特徴を修得する。
	疾病と 障害	病理学 I Pathology I	必修	講義	2	30		30				疾病の形態・機能変化、疾病鑑別の基本原理を修得する。
病理学 II Pathology II		必修	講義	2	30			30			病的変化を理解し、正常組織との違いを修得する。	

区分	開講科目名 (英語標記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 基 礎 分 野	疾 病 と 障 害	一般臨床医学Ⅰ General Clinical Medicine I	必修	講義	2	30			30			内科疾患を中心に、主要な疾患の診断方法を修得する。
		一般臨床医学Ⅱ General Clinical Medicine II	必修	講義	2	30				30		内科疾患を中心に、主要な疾患の機序、特徴、検査法について修得する。
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ Public Health I	必修	講義	2	30			30			疾病を未然に防ぎ、健康を維持・増進する知識を修得する。
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ Public Health II	必修	講義	2	30				30		自然科学的な研究方法論である疫学の考え方、実践活動としての健康サービスの概要を修得する。
		整形外科学 Orthopedic Surgery	必修	講義	2	30					30	骨・筋・関節・神経・病変について症状・検査方法・診断的知識を修得する。
		外科学 Surgery	必修	講義	2	30					30	外科疾患を中心に、主要な疾患の診断方法や治療法を修得する。
		リハビリテーション医学 Rehabilitation	必修	講義	2	30					30	症状の悪化や障害の予後に対して、機能回復・社会復帰に向けての技術を修得する。
	術・柔道 の適復	柔道整復術の適応 Adaptation of Judo therapy	必修	講義	2	30					30	柔道整復術の適応疾患についての知識と技術を修得する。
	保 健 医 療 福 祉 と 柔 道 整 復 の 理 念	医学史 Medical History	必修	講義	2	30					30	医学の歴史を理解し、現代医療の概要を修得する。
		関係法規 Related Laws and Regulations	必修	講義	2	30					30	柔道整復師法を中心に医療関係法規を修得する。
		柔道Ⅰ Judo I	必修	実技	1	30			30			日本古来の武術である「柔道」を通じ、基本的な礼儀作法・技を修得する。
		柔道Ⅱ Judo II	必修	実技	1	30				30		日本古来の武術である「柔道」を通じ、応用的な技術を修得する。
		柔道Ⅲ Judo III	必修	実技	1	30					30	投の形(手技・腰技・足技)を修得する。
		職業倫理 Professional ethics	必修	講義	2	30	30					一般的な職業倫理の理解から柔道整復師に求められる職業倫理を修得する。
障 社 会 保 護	社会保障制度 Social security system	必修	講義	1	15				15		日本の社会保障制度がどのように運営されているのか、その仕組みを修得する。	
専 門 分 野	基 礎 柔 道 整 復 学	基礎柔道整復学・総論Ⅰ Basic Judo therapy General topic I	必修	講義	2	30	30					骨組織の損傷と整復法・固定法の基礎を修得する。
		基礎柔道整復学・総論Ⅱ Basic Judo therapy General topic II	必修	講義	2	30	30					柔道整復師の沿革を知り、各組織の損傷の基礎を修得する。
		基礎柔道整復学・総論Ⅲ Basic Judo therapy General topic III	必修	講義	2	30	30					柔道整復学を学ぶうえで必要となる関節運動や可動域および脱臼の基礎を修得する。
		基礎柔道整復学・各論Ⅰ Basic Judo therapy Each argument I	必修	講義	2	30		30				上肢の骨折の整復法・固定法を修得する。

区分	開講科目名 (英語標記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要		
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専門分野	基礎柔道整復学	基礎柔道整復学・各論Ⅱ Basic Judo therapy Each argumentⅡ	必修	講義	2	30		30					下肢の骨折の整復法・固定法を修得する。	
		基礎柔道整復学・各論Ⅲ Basic Judo therapy Each argumentⅢ	必修	講義	2	30		30					上肢・下肢の脱臼の整復法・固定法を修得する。	
		基礎柔道整復学・概論Ⅰ Basic Judo therapy IntroductionⅠ	必修	講義	2	30	30						上肢の軟部組織損傷に関する知識を修得する。	
		基礎柔道整復学・概論Ⅱ Basic Judo therapy IntroductionⅡ	必修	講義	2	30	30						下肢の軟部組織損傷に関する知識を修得する。	
		基礎柔道整復学・概論Ⅲ Basic Judo therapy IntroductionⅢ	必修	講義	4	60			60				上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法を修得する。	
		基礎柔道整復学・概論Ⅳ Basic Judo therapy IntroductionⅣ	必修	講義	4	60				60			下肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法を修得する。	
		基礎柔道整復学・概論Ⅴ Basic Judo therapy IntroductionⅤ	必修	講義	4	60					60		体幹の骨折、脱臼に関する知識を修得する。	
		基礎柔道整復学・概論Ⅵ Basic Judo therapy IntroductionⅥ	必修	講義	4	60						60	軟部組織損傷に関する知識を総合的に修得する。	
		外傷保存療法の経過及び治癒の判定 The determination of the course and healing of trauma conservative therapy	必修	講義	1	15				15				外傷の保存療法の経過および治癒の判定に関する知識を修得する。
	臨床柔道整復学	臨床柔道整復学各論Ⅰ Clinical Judo therapy Each argumentⅠ	必修	講義	4	60					60		臨床に基づいた上肢の骨折、脱臼に関する知識と技術を修得する。	
		臨床柔道整復学各論Ⅱ Clinical Judo therapy Each argumentⅡ	必修	講義	4	60					60		臨床に基づいた下肢の骨折、脱臼に関する知識と技術を修得する。	
		臨床柔道整復学各論Ⅲ Clinical Judo therapy Each argumentⅢ	必修	講義	4	60						60	臨床に基づいた上肢の骨折、脱臼について総合的に修得する。	
		臨床柔道整復学各論Ⅳ Clinical Judo therapy Each argumentⅣ	必修	講義	4	60						60	臨床に基づいた下肢の骨折、脱臼について総合的に修得する。	
		臨床柔道整復学・総合演習 Clinical Judo therapy Exercise	必修	演習	3	90						90	「卒業判定試験」を実施し、科目横断的な総合知識を修得する。	
		臨床柔道整復学・物理療法 Clinical Judo therapy・Physical therapy	必修	講義	1	15	15							各種物理療法の原理、方法、適応を理解し、使用方法を修得する。
		柔道整復術適応の臨床的判定 Clinical judgment of Judo therapy adaptation	必修	講義	1	15		15						柔道整復術の適応疾患に対する臨床的判定方法を修得する。
		臨床柔道整復学・特論Ⅰ Clinical Judo therapy Advanced lectureⅠ	必修	講義	2	30							30	軟部組織損傷に対する、高度な専門知識や臨床現場で必要になる知識と技術を修得する。
		臨床柔道整復学・特論Ⅱ Clinical Judo therapy Advanced lectureⅡ	必修	講義	2	30							30	上肢骨折・脱臼に対する、高度な専門知識や臨床現場で必要になる知識と技術を修得する。
		臨床柔道整復学・特論Ⅲ Clinical Judo therapy Advanced lectureⅢ	必修	講義	2	30							30	下肢骨折・脱臼に対する、高度な専門知識や臨床現場で必要になる知識と技術を修得する。

区分	開講科目名 (英語標記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専門分野 柔道整復実技 (臨床実習を含む)	固定法Ⅰ Fixed methodⅠ	必修	実技	1	30	30						包帯法の扱い方を身に付け、基本包帯法を修得する。
	固定法Ⅱ Fixed methodⅡ	必修	実技	1	30	30						包帯法の基本法から応用方法を修得する。
	固定法Ⅲ Fixed methodⅢ	必修	実技	1	30			30				固定具の作成および固定具を用いて固定技術を修得する。
	固定法Ⅳ Fixed methodⅣ	必修	実技	1	30				30			様々な固定材料を用い応用的な固定技術を修得する。
	柔道整復実践実技Ⅰ (臨床前施術試験含む) Judo therapy Practical skillⅠ	必修	実技	1	30	30						柔道整復術を理解し、基礎技術を修得する。
	柔道整復実践実技Ⅱ Judo therapy Practical skillⅡ	必修	実技	1	30			30				整復・固定を行うための、基礎技術を修得する。
	柔道整復実践実技Ⅲ Judo therapy Practical skillⅢ	必修	実技	1	30				30			脱臼・骨折の整復法・固定法を実践するための技術を修得する。
	柔道整復実技Ⅰ Judo therapy practicalⅠ	必修	実技	1	30			30				上肢の骨折の整復法・固定法の技術を修得する。
	柔道整復実技Ⅱ Judo therapy practicalⅡ	必修	実技	1	30			30				下肢の骨折の整復法・固定法の技術を修得する。
	柔道整復実技Ⅲ Judo therapy practicalⅢ	必修	実技	1	30			30				上肢・下肢・体幹の軟部組織損傷の固定法を修得する。
	柔道整復実技Ⅳ Judo therapy practicalⅣ	必修	実技	1	30				30			上肢の脱臼の整復法・固定法を修得する。
	柔道整復実技Ⅴ Judo therapy practicalⅤ	必修	実技	1	30				30			下肢の脱臼の整復法・固定法を修得する。
	柔道整復実技Ⅵ Judo therapy practicalⅥ	必修	実技	1	30				30			上肢・下肢・体幹の脱臼の固定法を修得する。
	柔道整復実技Ⅶ Judo therapy practicalⅦ	必修	実技	1	30					30		上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼の整復法・固定法を修得する。
	柔道整復実技Ⅷ Judo therapy practicalⅧ	必修	実技	1	30						30	上肢疾患の臨床実技を修得する。
	柔道整復実技Ⅸ Judo therapy practicalⅨ	必修	実技	1	30						30	下肢・体幹疾患の臨床実技を修得する。
	高齢者及び競技者の外傷予防技術 Trauma prevention technology for elderly and athletes	必修	実技	1	30					30		高齢者及び競技者の外傷予防技術を修得する。
臨床実習 Clinical training	必修	実技	4	180		45	45	45	45			臨床現場における柔道整復師の役割を認識し、医療面接から施術までの知識と技術を修得する。

区分	開講科目名 (英語標記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
スポーツ系医療分野	救急処置法 I First Aid and Emergency Care By JRCs	必修	実習	1	30	30						緊急時に必要な救急処置を冷静沈着に行えるよう、正しい知識と技術を修得する。
	救急処置法 II First Aid and Emergency Care By JRCs	必修	実習	1	30	30						スポーツ外傷、また障害発生時に行う適切かつ迅速な救急手当に関する知識と技術を修得する。
	スポーツ医学概論 I Sports Medicine I	必修	講義	2	30	30						スポーツ指導者に必要な医学的知識を構築する。
	スポーツ医学概論 II Sports Medicine II	必修	講義	2	30		30					身体の仕組みと働き、成長や性による特徴などをスポーツ医学の見地からより深く構築する。
	スポーツ外傷論 I Theory of Sports Wound I	必修	講義	2	30				30			体幹および上肢のスポーツ外傷・障害についての知識を修得する。
	スポーツ外傷論 II Theory of Sports Wound II	必修	講義	2	30					30		下肢のスポーツ外傷・障害および頭頸部などにおける重篤な傷害についての知識を修得する。
	スポーツ内科学 Sports Internal Medicine	必修	講義	2	30					30		スポーツ選手に見られる内科的疾患についての知識を修得する。
	アスレティックトレーナー概論 Principles of Athletic Training	必修	講義	2	30	30						アスレティックトレーナーとしての基礎知識を歴史、業務、組織運営など多角的に知識を構築する。
	予防とコンディショニング I Conditioning I	必修	講義	1	30			30				コンディショニング理論の基礎を習得し、指導方法の基礎を身に付ける。
	予防とコンディショニング II Conditioning II	必修	講義	1	30				30			ストレッチングを中心に実際のコンディショニングの手法を修得する。
	予防とコンディショニング III Conditioning III	必修	講義	1	30					30		コンディショニング理論を学び、テーピング、トレーニング、マッサージなどの手法を修得する。
	アスレティックリハビリテーション I Athletic Rehabilitation I	必修	講義	1	30				30			アスレティックリハビリテーション理論を学び、目的別、部位別のプログラムを作成、実践する。
	アスレティックリハビリテーション II Athletic Rehabilitation II	必修	講義	2	60					60		アスレティックリハビリテーション理論を学び、部位別、競技別のプログラムを作成、実践する。
	スポーツ系トレーナー分野	トレーニング理論・実習 Strength Training and Reconditioning	必修	実習	1	30	30					
トレーニング総合実習 Exercise Practicum		必修	実習	1	30	30						正しいトレーニング理論のもと、様々なトレーニング手法を実践できるようになる。
トレーニング科学 I Training Science I		必修	講義	2	30			30				スポーツ動作におけるバイオメカニクスを考慮したトレーニングについての知識を修得する。
トレーニング科学 II Training Science II		必修	講義	2	30				30			パーソナルトレーニングまたチーム単位のストレングストレーニングについて実践力を身につける。
検査・測定と評価 I Evaluation I		必修	講義	2	30			30				正しい測定方法と検査方法を学習し、評価するための基礎を習得する。
検査・測定と評価 II Evaluation II		必修	講義	2	30				30			測定と検査が実施でき、正しい評価ができるようになる。

区分	開講科目名 (英語標記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要		
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
その他分野	トレーナー実習 Internship Program for Athletic Trainer	必修	実習	6	180						180	スポーツ現場等での実習を通じ、学習内容の活用法を学び、職業訓練につなげる。		
	柔道整復スポーツ研究 Clinical Judo therapy Practice	必修	講義 演習	4	120				120			自己のテーマを設定し、研究・実験・評価が行えるようになる。		
	柔道整復スポーツ学特論 Judo therapy sports science Advanced lecture	選択 必修	講義 演習	1	30				30			海外の大学において、医学の基礎を学び専門家となるべく礎を築く。もしくは、学内にて演習を行い修得する。		
	手技療法 I Technique therapy I	必修	実技	1	30	30						柔道整復師の施術における手技療法を基礎を修得する。		
	手技療法 II Technique therapy II	必修	実技	1	30		30					柔道整復師の施術における手技療法の応用方法を修得する。		
総時間（集中を含む）						196	3750	570	555	585	765	615	660	